

【解析学賞】

第2回解析学賞候補者推薦のお願い

“解析学および、解析学に関連する分野において著しい業績をあげた研究者に対し、その業績を顕彰する”目的で解析学賞が設置され、2002年度から運営が始まりました。第1回の解析学賞受賞者は、野口潤次郎、舟木直久、柳田英二の3氏でありました。その受賞講演が、3月23日から26日にわたって東京大学において開催されました年会において行われました。

第2回（2003年度）の解析学賞受賞候補者の推薦を下記の要領で募集いたしますので、ご推薦下さいますようお願いいたします。（内規により、推薦委員が選ばれることになっておりますが、これは一定数の候補者を確保するための処置であり、推薦委員から推薦された候補者が、選考において優先されるということはありません）

第2回目の受賞者の発表は、2003年度秋季総合分科会の折に行われる予定です。

(1) 対象

過去5年間程度の間、広い意味での解析学に関連した分野において著しい業績をあげた日本数学会会員（この詳細については、「数学通信」6巻2号65ページの解析学賞規程および内規を参照のこと）。

なお、解析学賞検討委員会の委員であった下記の10名は、2004年度までは被推薦の資格がありません。

今吉 洋一	風間 英明	谷島 賢二	井川 満	藪田 公三
岡沢 登	野村 隆昭	幸崎 秀樹	小谷 真一	景山 三平

(2) 推薦権者

推薦出来るのは日本数学会会員とする。また他薦に限る。

(3) 推薦書

用紙はa4紙を用い、以下の項目について記載してください。

(1) 候補者氏名・所属・職

(2) 略歴（分かる範囲でよい）

(3) 業績の題目

(4) 推薦理由

(5) 受賞候補としての業績に関する論文リスト

(6) 受賞候補者の業績を良く知っている2-3名の方の氏名、所属、電話番号、電子メールアドレス

(7) 推薦者氏名・所属・職・連絡先

(4) 推薦締め切り：2003年6月30日

(5) 推薦書送付先

606-8502

京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科数学教室内

解析学賞事務局宛

(文責：解析学賞事務局 井川 満)